

授業科目(ナンバリング)	介護概論ⅢB(介) (DA402)			担当教員	久田 貴幸		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	4 年・後期	必修・選択	選択 (介護必須)
授業のねらい							アクティブ・ ラーニング の 類 型
今までの「介護概論Ⅰ・Ⅱ」の理解を深め、利用者の生活をよりよく、安心できるものとするために、新しい介護の理念に則り、安全かつ安心できる介護の信頼のおける介護の実現を目指していく。この科目では、介護の総まとめとして、介護理念に則り、介護を捉えることができることを目標とする。							①④⑧
ホスピタリティ を構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法	評価比率
専門力	介護福祉士としての専門的な知識・技術を修得し、介護理念に則り、現在の課題に適応して解決するための介護として捉えてことができる					課題レポート	50%
情報収集、 分析力	介護に関連する情報を収集し、それらを分析する能力を身につけることができる。					事例検討、発表 内容	20%
コミュニケーション力							
協働・課題解決 力	様々な事例の課題に対して、課題を的確に把握し、他の人と協力して課題解決に向けた方策を立案し、実行する営みに寄与できる。					事例検討、発表 内容	10%
多様性理解力	ディベートや事例検討を通して、自分との違いを認識し、立場の状況の違いから多様性について理解することができる。					事例検討、発表 内容	20%
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>課題レポートは、事例について介護理念に基づいた介護観に関する記述内容、専門知識に関する正しい理解、理論的かつ明快に自分の考えを説明できたかを評価する。</p> <p>事例検討、発表内容については、ディスカッションなど、事例を検討した後、自分の意見・介護観を持った上で、有意義なディスカッションに貢献できたかを評価する。その他、授業での発表内容を通じて、授業への姿勢や取り組み、基本的な福祉に関する知識や技術の理解度などについてもあわせて評価する。</p>							
授 業 の 概 要							
<p>「介護概論Ⅰ・Ⅱ」を踏まえた、介護の基本部分のまとめである。</p> <p>これまでの介護の学びを統合させながら、介護理念が実際の介護場面に活かせる様に、様々な事例の検討から、介護理念に則った利用者主体、利用者中心の介護について理解を深める、介護の総まとめの学修を行う。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分です。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：最新・介護福祉士養成講座4『介護の基本Ⅱ』 中央法規 発行者：荘村明彦 指定図書：介護福祉士国家試験 受験ワークブック2018上 中央法規</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>介護実践の基盤となる、考え方や専門知識を自分のものとし、介護福祉士としての基礎を完成して欲しいと思います。介護の理念を反映させただけでなく、これまでの学びや実習やボランティアなどを通じた自分自身の介護観を作り上げて欲しいと思います。そのために授業や課題に対して真剣に取り組み、自分自身の現在の知識や技術について確認し、自身のあり方も含めて検討を行い、介護観を身につけて、4年間の仕上げをしてほしいと思います。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	身体拘束について	介護現場における身体拘束の廃止が容易でない理由を考える。その上で、身体拘束がもたらす弊害について理解する。	予習：身体拘束の弊害、習った内容について事前学習を行う
2	利用者の人権擁護について	言葉や態度等で利用者の自由を拘束する場面を振り返り、利用者の人権を守る介護の課題として考える。	予習：高齢者虐待について習った内容について事前学習を行う
3	事例検討①	様々な在宅高齢者のQOLを高める介護について考える。多様化する介護問題について、解決に向けた支援方法や介入方法の検討を行う。	予習：介護が抱える問題について事前学習を行う
4	事例検討②	在宅で生活する高齢者のQOLを高める介護について考える。介護予防について考え重要性について理解する。	予習：介護予防について、事前学習を行う
5	事例検討③	在宅で生活する高齢者のQOLを高める介護について考える。孤立した独居高齢者の生活の安全の保障・看取りについて考え、その重要性について理解する。	予習：孤立の原因、独居老人に関することを調べる
6	事例検討④	様々な在宅高齢者のQOLを高める介護について考える。認知症高齢者・地域での生活継続、看取りについて理解する。	予習：認知症高齢者施策・在宅高齢者の現状について調べる
7	事例検討⑤	様々な障害者のQOLを高める介護について考える。呼吸機能障害者の在宅生活の維持について理解する。	予習：介護職が行える医療的ケア（たん吸引）について
8	事例検討⑥	様々な障害者のQOLを高める介護について考える。在宅生活を希望している障害者について理解する。	予習：脱施設化と個別ケアを視野に、障害者の事例を確認・検討する
9	事例検討⑦	様々な障害者のQOLを高める介護について考える。精神障害者の生活支援での人権尊重について理解する。	予習：精神障害者の生活支援の内容を確認し、事例確認・検討する
10	事例検討⑧	様々な障害者のQOLを高める介護について考える。在宅の肢体不自由者の居住環境、福祉用具活用について理解する。	予習：ICFモデルし、ICFから障害者の事例を検討する
11	事例検討⑨	様々な障害者のQOLを高める介護について考える。視覚障害者、聴覚障害者への情報提供のあり方について理解する。	予習：視覚・聴覚障がいでの生活障害を把握し、情報のバリアと対策から障害者の事例検討する
12	事例検討⑩	様々な障害者のQOLを高める介護について考える。障害児・生活支援、家族（母子）支援を中心について理解する。	予習：レスパイトケアを復習し、介護者と障害児の事例検討する
13	事例検討⑪	これからの高齢者介護の課題や障害児・者の介護課題について考える。	予習：今後の課題となるものを検討する
14	専門職としての介護福祉士	専門職としての介護福祉士のあり方を考える。同時に介護福祉士としての生涯学習や研修の必要性を理解する。	予習：求められる介護福祉士像と資格取得時の到達目標を確認し、専門職への課題を考える
15	まとめ	変化する社会や人間を見据えた介護のあり方を考える。同時に、現時点の自分の介護観を明確にする。	復習：自身の介護観をまとめる